

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月

立川市ドリーム学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用定員に対し、訓練室等のスペースは適切であると考えております。以前は、全体を一つのグループで療育していましたが、現在はより効果的な療育のためグループ分けをしています。そのため、部屋の大きさやトイレの数などに制限がありますが、活動内容やねらいに応じて工夫して使用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		指定通所支援（児童福祉法）の指定の人数基準は満たしております。より良い療育を目指しつつ、良好な職場環境を確保するため、職員の役割分担の再考や情報共有、事務作業の負担軽減、効率化などを引き続き検討していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	建物は昭和57年に竣工したもので、施設のバリアフリー化は十分ではなく、また、エレベーターは設置されていない状況ですが、子どもの発達特性に応じた理解しやすく取り組みやすい環境を設定しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		施設の老朽化が進んでいますが、子どもが安全で快適に活動できるように、清潔を保ち整理整頓された施設の管理に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日、療育の前後にミーティングを行い、グループ毎の振り返りや全体での情報共有などを行っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		行事等の度に保護者より感想等を伺い、職員間で共有し、日々の療育や行事等の改善につなげております。また、毎年、保護者アンケート及び保護者等向けの事業所評価を実施し、業務改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所向け自己評価と保護者等向けの自己評価を行うとともに、その内容を立川市のホームページに公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者による外部評価は行っておりませんが、毎年、保護者アンケートを実施して、その意見を職員間で共有しており、園の業務改善につなげております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		園内研修を計画的に実施するとともに、子ども家庭部内での研修、外部の機関が実施する研修に参加しております。受講者の学びを職員全員の学びにつなげるための仕組みを検討していきます。
適切な支援の提供①	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との面談や日々の連絡帳を通じてニーズの把握に努めるとともに、臨床発達心理士、理学療法士などの専門職の助言を受け、個別支援計画（児童発達支援計画）を作成しております。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントツールを使用するとともに、園独自の評価表も活用しております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援ガイドラインの趣旨にそって取り組んでまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画に基づき支援を行っております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		朝夕のミーティングで取り組み内容を検討しております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供②	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの状態や変化に合わせ、発達のニーズに応じた活動プログラムを実施しております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個々の発達のニーズに応じた活動ができるよう、個別支援計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝のミーティングで職員間で情報共有を行い、取り組み内容を確認しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日、療育の終了後にミーティングを実施して、記録も残して職員間で情報共有を行っております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、療育の記録を作成して、職員間で情報共有を行い、支援の検証・改善につなげております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		日頃から保護者との情報共有の中で、年2回前期、後期の個別支援計画を作成しております。今年度は保護者よりご意見を伺い、後期の個別支援計画を作成いたしました。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		障害児相談支援事業所等の要請に応じて参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関による連携会議に出席するなど、保育、発達、教育、保健等と連携して支援を行っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		嘱託医の指示で実施しております。また、必要に応じて関係機関と連携を図っております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		嘱託医の指示で実施しております。また、必要に応じて関係機関と連携を図っております。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の意向を伺った上で、転園の時には申し送りを行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の意向を伺った上で、卒園の時には申し送りを行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		子ども家庭支援センターの発達支援係で実施している「児童発達支援事業所交流会」に参加しています。また、他市の事業所の視察、交流会や研修会も実施しております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		年長児の希望者のみ、公立保育園との交流を実施しております。現在の人員配置や業務量などの状況から、園での療育が適切に運営できる範囲での交流実施となっております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		必要に応じて参加いたします。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡帳で、療育の様子や家庭での様子を伝え合うとともに、療育参加や行事などを通じて子どもの発達や課題を共有しております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		療育見学や療育参加を通じ、発達の課題や生活の工夫など、保護者とともに考えております。また、連絡帳や「家庭宿題」等を通じて保護者と共に対処力の向上を目指しております。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入園の契約時に説明を行っております。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別支援計画の作成の時には、保護者との面談を行い、内容を説明し、同意を得ております。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の連絡帳や電話でのやりとりの他、年2回の面談、年1回の家庭訪問（希望制）を実施して、保護者の悩み等を共有し、随時、保護者の希望に応じて面談を行っております。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者同士のつながりが感じられるよう、集う場を持つことに重きを置き、担当職員が相談、企画などし、保護者同士の連携を支援しました。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		日々の連絡帳でのやり取りの中で迅速に対応することを心掛けております。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、園便りを発行して行事の予定をお知らせするとともに、行事ごとに案内文書を配布しています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取扱いについては日頃より十分に注意し、定期的に研修も実施しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚支援や予告の方法、タイミングなど、理解に合わせた伝達の配慮をしています。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、施設面の課題や感染症対策等の状況から、地域住民を招く事業はおこなっておりませんが、ドリーム学園の活動を広く知っていただくため、近隣の公共施設において「夢まつり」を開催しています。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		避難訓練等を実施し、その都度、改善点をあげ、緊急時に対応できるように努めています。また、不審者対応については園児不在の時間に訓練を実施しています。なお、令和5年度末までに安全計画を作成し、引き続き、計画的に取り組んでまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練は毎月、実施しております。効果的な訓練ができるよう努めてまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入園時に確認しております。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		入園時にアレルギーの状況を確認して、嘱託医の指示により対応しております。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		日々のミーティングで確認、共有しながら、ヒヤリハット事例を記録しております。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		園内に虐待防止委員会を設置するとともに、園内研修を実施しています。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束等の適正化のための指針を作成し、立川市のホームページに掲載しています。また、利用契約書及び個別支援計画に身体抑制について明記し、保護者に説明しております。	

◆ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。